

常任委員会の行政視察を実施しました！

委員会の調査・研究活動の一環として、他の自治体で
取り組まれている先進的な事例を視察しました。

総務企画防災常任委員会

【6月29日・30日】

栃木県大田原市

・議会のタブレット端末導入について
・本会議のインターネット配信について

同市議会では、平成27年3月定例会からタブレット端末を導入し、ペーパーレス化と文書保存管理等の効率化を図っている。また、本会議の生中継をネット配信し、現在はスマートフォン等でも視聴できる。

《委員の所見》

現在の社会情勢やペーパーレス化による会議の効率化、経費削減などの効果を考えれば、タブレット端末を本市議会でも導入すべきと考えるが、導入に際しては今回の視察の観点を生かし、市長部局と同時期に実施できるように、双方で検討する必要がある。また、インターネット配信についてもタブレット端末と同様に早期に取り組まなければならない課題であると感じた。



▲大田原市役所会議室にて

《総務企画防災常任委員会》

横山委員長、金子副委員長、大谷、小林（貴）、大島、荻原、黒川、中山 各委員

《議会改革推進協議会ICT部会》

荻原部会長、富永副部会長、須田、渡辺、西田 各部会長

※大田原市の視察は、

議会改革推進協議会ICT部会

（議会改革を進めるに当たり、ICT（情報通信技術）に関する検討項目を協議する専門部会）も合同で実施しました。

新潟県村上市

村上市人口減少問題対策「チャレンジプラン」の策定について

同市では、国立社会保障・人口問題研究所が平成25年に公表した将来推計人口を受け、いち早く人口減少問題に対応し、同プランを策定して「取り組めることから取り組む」との方針のもと、事業化を進めている。



《委員の所見》

あまりにも深刻な推計の数字に危機感を覚え、検討や考慮に時間を費やすことなく、手のつけられないことからかく始めていくという行動力を感じた。その中の事業の一つである成人式の会場への産業ブース設置などは、若い世代の流出削減の施策として、企業誘致とあわせて本市でも試みる価値のある事業であった。

各委員の報告書は、市議会ホームページに掲載しています。



▲村上市役所会議室にて

民生環境水道常任委員会

【10月8日・9日】

静岡県磐田市

磐田市クリーンセンターの概要について

平成23年に完成した同センターは、ごみ焼却過程で発生する熱エネルギーにより発電等を行い、電力の余剰分は電力会社に売電、余熱は隣接する温水プールや厚生会館に温水を供給している。



▲磐田市クリーンセンターにて
大須賀委員長、斎藤副委員長、栗原、中島、小林(克)、渡辺、尾関、平塚 各委員

《委員の所見》

同センターは、規模的にも本市が計画する新焼却場に参考となる部分が多くあった。本市の場合も、焼却炉の方式、溶融炉の方式など慎重に検討していかなければならない。また、計画に当たっては周辺環境整備として地元住民が要望する道路や水路等の整備はもちろ

ん、施設から作り出される余熱や電力の最大活用策を検討する必要がある。

静岡県袋井市

健康チャレンジ！すまいる運動「健康マイレージ制度」について

同市では、平成19年度より健康づくりをポイント化する健康マイレージ制度を実施している。貯まったポイントは公共施設利用券や民間の登録サービス券と交換でき、また幼稚園や学校、市の基金等へ寄附することもできる。

《委員の所見》

本市でこの制度を取り入れるならば、これを市内の商店や飲食店、企業などに呼びかけ、各種サービスを無償で提供していただければ、お願いしたらよいと思う。企業側も宣伝効果をねらえるとなれば協力いただけるのではないだろうか。

官民一体と

なって健康づくりに取り組むことで、健康寿命を延ばし、健康保険への負荷の軽減も図れるなど多くのメリットが期待できる。



▲ポイントを貯める「すまいる手帳」

教育経済建設常任委員会

【9月30日・10月1日】

長野県松本市

「街なみ環境整備事業」及び「歩いてみたい城下町整備事業」について

同市では、ゆとりと潤いのある生活空間形成のため、国宝松本城等に代表される歴史的まちなみ景観等を生かしながら、地域の活性化と居住環境の向上を図り、魅力あるまちづくりを進めている。



▲松本城周辺の街なみ
柳委員長、富永副委員長、末吉、須田、杉田、吉田、西田、藤生 各委員

《委員の所見》

松本城周辺の5つの地区において、それぞれの地区の特徴を生かした整備を行っていた。各地区の住民が「まちづくり協定書」を策定し、その後「まちづくり推進協議会」を設立しており、住民みずからが目的に向かって協議検討を

していた。行政主導ではなく、まちづくりは市民が行うという意識が芽生えていったことは最も大切なことであり、委員の多くが注目した点であった。

長野県安曇野市

安曇野市観光振興ビジョンについて

同市では、「はじめよう、安曇野暮らしツーリズム」の理念のもと、自然や景観、歴史・文化等を来訪者へ発信し、観光を通じた地域経済活性化に向けた仕組みを構築している。

《委員の所見》

観光誘客は国内の他市との競争はもちろんであるが、これからは外国人の誘客に力を入れると同時に、リーダーをいかにふやすかであると考えている。それには安曇野市のように、計画の時点からプロジェクトメンバーに市民を入れて、幅広い検討をすることが大切なことであると思う。また、豊かな自然に恵まれている同市は、新たな観光資源を開発するのではなく、「水」をテーマにした戦略プロジェクトを主体として観光振興を図ろうとしており、その点は足利市も参考になると思う。

